



# 平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 KHネオケム株式会社  
コード番号 4189 URL <http://www.khneochem.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅井 恵一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 平井 謙一

TEL 03-3510-3550

四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	69,720	18.7	9,160	35.3	9,540	41.6	6,537	45.1
28年12月期第3四半期	58,714		6,769		6,735		4,506	

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 6,944百万円 (49.9%) 28年12月期第3四半期 4,633百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	177.90	176.54
28年12月期第3四半期	132.36	

(注1) 当社は、平成27年12月期第3四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、平成28年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(注2) 当社は、平成28年6月10日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成28年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(注3) 平成28年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権を発行しておりますが、当社株式は平成28年12月期第3四半期においては非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	91,691	32,497	31.7
28年12月期	87,674	28,112	28.2

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 29,062百万円 28年12月期 24,713百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		50.00	50.00
29年12月期		25.00			
29年12月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成28年12月期期末配当金の内訳 普通配当 46円50銭 記念配当 3円50銭

## 3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,500	10.4	10,300	14.7	10,600	18.4	7,300	21.4	198.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期3Q	36,749,400 株	28年12月期	36,749,400 株
-----------	--------------	---------	--------------

期末自己株式数

29年12月期3Q	70 株	28年12月期	株
-----------	------	---------	---

期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期3Q	36,749,371 株	28年12月期3Q	34,050,000 株
-----------	--------------	-----------	--------------

(注)当社は、平成28年6月10日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成28年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はT D netで同日開示しております。

当社は、平成29年11月9日に機関投資家・アナリスト向け説明会(電話会議)を開催する予定です。四半期決算説明会資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の緩やかな回復に伴う輸出や鉱工業生産・企業収益の拡大、堅調な雇用・所得情勢を受けた個人消費の持ち直しの動きがみられる等回復基調で推移しました。しかしながら、欧米の政治動向や地政学的な緊張の高まり等が各国経済に影響することも懸念されており、景気の先行きは依然として不透明感を残しています。

当社グループの事業につきましては、国内外の需要が順調に推移したことに加え、昨年を実施した大規模な定期修繕が当第3四半期連結累計期間にないこと等により、前年同四半期に比べ販売数量が増加し、また、機能性材料の大幅な伸長やアジアにおける需給バランスの引き締まりに伴う基礎化学品の海外市況の改善による利幅の確保等の要因により、前年同四半期に比べ増収増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高697億20百万円(前年同四半期比18.7%増)、営業利益91億60百万円(前年同四半期比35.3%増)、経常利益95億40百万円(前年同四半期比41.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益65億37百万円(前年同四半期比45.1%増)となりました。

事業分野別には、次のとおりであります。

基礎化学品は、自動車生産の伸長等に伴い拡大した国内外の需要や中国の環境規制等により供給が抑えられたオキソアルコールのアジア市況の改善、隔年実施の定期修繕要因等により、販売数量、利益とも前年同四半期を上回り、売上高330億77百万円(前年同四半期比18.9%増)、売上総利益51億80百万円(前年同四半期比18.7%増)となりました。

機能性材料は、中国を中心にエアコン用の冷凍機油原料や化粧品原料のアジア需要が拡大したことにより販売数量、利益とも前年同四半期を大幅に上回り、売上高279億56百万円(前年同四半期比26.4%増)、売上総利益94億17百万円(前年同四半期比52.8%増)となりました。

電子材料は、半導体やディスプレイの生産伸長等に伴い拡大した国内外の需要や隔年実施の定期修繕要因により、販売数量、利益とも前年同四半期を上回り、売上高81億56百万円(前年同四半期比13.6%増)、売上総利益23億53百万円(前年同四半期比5.6%増)となりました。

その他は、前年同四半期にあった嘩揚股份有限公司へのライセンス供与の対価である技術料収入がないこと等により大幅な減収減益となり、売上高5億30百万円(前年同四半期比66.8%減)、売上総利益2億4百万円(前年同四半期比82.0%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は487億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億17百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が10億17百万円、受取手形及び売掛金が22億88百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は429億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億99百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が9億23百万円減少しましたが、投資有価証券が13億86百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は916億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億17百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は421億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ163億36百万円増加いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が5億円、未払金が5億47百万円それぞれ減少しましたが、支払手形及び買掛金が11億48百万円、短期借入金が97億80百万円、コマーシャル・ペーパーが49億99百万円及び修繕引当金が11億30百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は170億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ167億4百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が163億円、修繕引当金が5億82百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は591億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億67百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は324億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億85百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益65億37百万円、その他有価証券評価差額金の増加3億12百万円、連結範囲の変動による利益剰余金の増加2億23百万円及び剰余金の配当27億56百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年8月4日の「業績予想の修正並びに剰余金の配当及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,335	13,353
受取手形及び売掛金	21,536	23,824
商品及び製品	7,580	7,089
仕掛品	255	360
原材料及び貯蔵品	1,184	1,458
繰延税金資産	492	588
その他	1,776	2,105
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	45,155	48,772
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,978	30,077
減価償却累計額	△23,613	△24,145
建物及び構築物(純額)	6,365	5,931
機械装置及び運搬具	88,026	88,426
減価償却累計額	△81,982	△82,890
機械装置及び運搬具(純額)	6,044	5,535
土地	17,549	17,549
建設仮勘定	424	614
その他	5,505	5,527
減価償却累計額	△4,321	△4,514
その他(純額)	1,184	1,013
有形固定資産合計	31,567	30,643
無形固定資産		
のれん	1,915	1,814
その他	33	31
無形固定資産合計	1,949	1,846
投資その他の資産		
投資有価証券	6,961	8,347
退職給付に係る資産	1,260	1,309
その他	780	773
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	9,001	10,428
固定資産合計	42,518	42,918
資産合計	87,674	91,691

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,089	17,237
短期借入金	1,050	10,830
1年内返済予定の長期借入金	2,900	2,400
コマーシャル・ペーパー	—	4,999
未払金	2,919	2,371
未払法人税等	1,950	1,787
賞与引当金	29	435
修繕引当金	370	1,500
その他	520	601
流動負債合計	25,828	42,165
固定負債		
長期借入金	27,350	11,050
繰延税金負債	2,731	2,867
退職給付に係る負債	2,644	2,591
役員退職慰労引当金	173	188
環境対策引当金	150	150
修繕引当金	582	—
その他	101	181
固定負債合計	33,733	17,028
負債合計	59,561	59,193
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,745	8,745
資本剰余金	5,245	5,245
利益剰余金	10,438	14,443
自己株式	—	△0
株主資本合計	24,429	28,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	303	615
繰延ヘッジ損益	△4	△1
為替換算調整勘定	109	130
退職給付に係る調整累計額	△124	△115
その他の包括利益累計額合計	284	628
非支配株主持分	3,399	3,435
純資産合計	28,112	32,497
負債純資産合計	87,674	91,691

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	58,714	69,720
売上原価	44,819	52,563
売上総利益	13,895	17,156
販売費及び一般管理費		
運送費	2,374	2,831
その他	4,750	5,165
販売費及び一般管理費合計	7,125	7,996
営業利益	6,769	9,160
営業外収益		
受取利息及び配当金	68	151
持分法による投資利益	220	217
その他	137	257
営業外収益合計	426	626
営業外費用		
支払利息	157	97
固定資産処分損	115	105
その他	187	42
営業外費用合計	460	245
経常利益	6,735	9,540
特別利益		
補助金収入	—	206
特別利益合計	—	206
特別損失		
減損損失	—	130
特別損失合計	—	130
税金等調整前四半期純利益	6,735	9,616
法人税等	2,073	2,979
四半期純利益	4,662	6,636
非支配株主に帰属する四半期純利益	155	98
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,506	6,537



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	4,662	6,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	312
繰延ヘッジ損益	0	3
為替換算調整勘定	△60	△16
退職給付に係る調整額	△14	8
その他の包括利益合計	△29	307
四半期包括利益	4,633	6,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,477	6,845
非支配株主に係る四半期包括利益	155	98

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

①連結の範囲の重要な変更

前連結会計年度において非連結子会社であったKH Neochem Americas, Inc. は重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

②持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。